

⑫とっとり震災支援連絡協議会 (鳥取市)

鳥取県内に避難している東日本大震災の被災者支援の傍ら、災害時に企業・団体が連携し、民間レベルで地域の支援活動に貢献できるネットワークの構築を模索している。今年4月に法人化し、連携のハブとして機能できる体制づくりを目指す。

災害時の支援は、行政だけでは担いきれないこともあり、災害に関する理解、知識を深めた民間が動くことで、より広範囲の支援を



民間レベルの連携構築へ



連携構築研修会の様子
(昨年9月)

可能にしたい考え。

民間がつながることの必要性を説き、4年前から年数回開く「災害支援のための連携構築研修会」への参加を企業・団体に呼びかける。これまで社会福祉協議会や生活協同組合(生協)、医療生協、大学、まちづくり団体などが参加している。

まずは拠点を置く県東部で連携の形をつくり、県内全域に取り組みの輪を広げていきたい佐藤淳子代表(66)は「防災への意識はあっても、単体でどう動くべきか分からない企業も多い。自分たちに何ができるか見つけてもらうことが大事」と指摘する。最終目標は災害時に地域で取りこぼされる人をなくすことだ。

事例紹介などを通じ、過去の災害を未来にどう生かすか、さまざまな視点で考える交流会(17日午後1時半、とりぎん文化会館)の参加者を募集中。



申し込みフォーム
専用